

第35回支部総会を開催

「医療改悪阻止しよう」

淡路支部ニュース

2013.6.25
No.294

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-0051 洲本市物部
3-3-44 松本産婦人科内
Tel.079912210073

記念講演には8人が参加した



淡路支部は5月25日に洲本市健康福祉館で、第35回支部総会を開催。2012年度活動まとめと2013年度活動方針案を採択し、医療改悪阻止の声を淡路からも上げていこうと確認した。高田裕先生

が支部長に再任されたほか、淡路市の岡野浩和先生が新幹事に選出された。メディプラザ大阪の石原正規氏が「診療所のIT化をどうするか」をテーマに記念講演した。(2面に感想文)

Let's...

前哨戦と言われた
東京都議選も終わり、
今年選挙年最大の参
院選が間近となつて
きました(参議院は
任期6年、衆院と異
なり解散もない故

ゆつくり勉強、初志貫徹され
るか鼓腹遊説に終わるのかは
先生次第?)。

世界はG8をはじめトップ
会談が公式非公式に行われる
一方、機密話も半ば公になつ
たみたい。異常気象とともに
将来への不安はいよいよ増強
されているように思われるの
ですが、いかがでしょうか?
閑話休題。我が協会は
県・支部ともに総会終了、新
年度へ。レッツです。県で
は引き続き正副議長は淡路支
部役員が担任という重い責任
が。船の時代、損ではない
でしょうが明石海峡大橋とい
う条件があるだけに。

地域性と言えば、先般(6・

16)の雨も、兵庫県内でザ
アザアは淡路島だけで、本
州?はパラパラだったらし
い。その点ではマスコミは、
発する方、受け取る方、共に
責任が生ずるわけであり、難
しい!?

この期間において淡路での
医療事情を思案する時、県病
(正式には淡路医療センター)
の移転であろう。内覧会当
日、体調不良もあり、わが体
力を考えると欠席せざるを得
なかつたので、現状はまった
く知らない。我が家での患者
さんを元としてのニュースで
は、駐輪場の不足、駐車場の
遠いことがトップ。どなたの
設計か知らないが、淡路で自
転車はなおネグレクトするわ
けにいかないであろう。

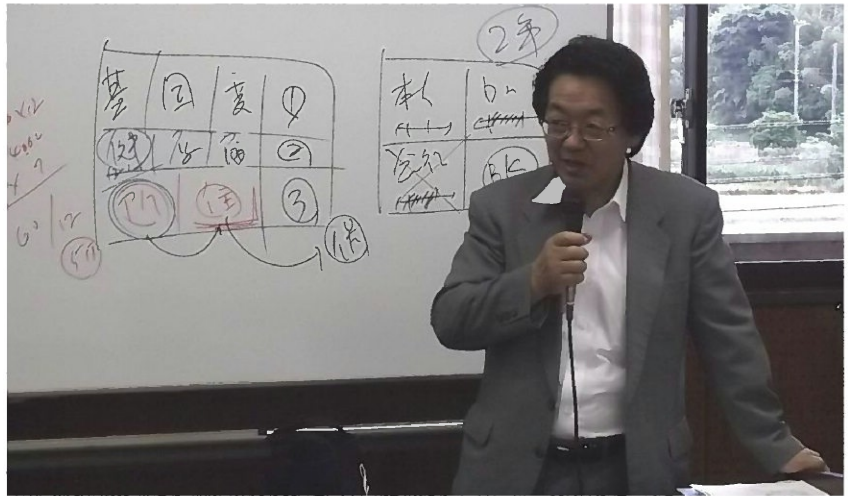
急に暑さが厳しくなりまし
た。対策の一つとして、支部
ニュース200号等の期節号
を読み返していただければ?

【6・17 松本記】

研究会感想文

淡路市

6月1日、神戸女子大学講師の阿江善春先生に「医療機関で知っておきたい医療・福祉・介護の役立つ制度」と題して講演していただきました。20人が参加しました。30年間の医療ソーシャルワーカーの経験を生かし、兵庫県社会保障推進協議会で各



神戸女子大学講師の阿江善春先生がわかりやすく講演した

自治体の制度改善の取り組みもされてきた先生のお話は、具体的に分かりやすかったです。

一世の中知らない損をするということが多いけれども、医療・福祉・介護の分野でも

今まで身体障害や特定疾患の申請等はしていましたが、例えば「介護保険で要介護者の人は税金の障害者控除を受けられる」「重度の介護を必要とする在宅の人に介護費の負担を軽減するために月額2万6620円の特別障害者手当が支給される」「請求漏れの多い障害者年金」などの話は初耳で

同じでした。特に慢性の病気を抱えて働けなくなった人や年金生活のお年寄りにとっては、生活の質や生死にかかわります。

忙しい医師にとつて書き慣れない申請書類を作成するのは大変です。しかし、できるだけ利用できる制度は活用するべきでしょう。

また、医療機関での一部負担金の支払いが困難なために受診を控えたり、障害があるのに在宅に必要な介護サービスが受けられない人がいます。そういう人たちに対して、申請すれば保険料や一部負担金、介護サービス利用料が軽減されるなどの制度について気軽に相談を受け、的確にアドバイスできる人が各地域の自治体や医療機関に必要だと感じました。



こと、シ
ンプル
な画面
構成で

直感的に操作できるこ
と、ボタン配置は1カ所
に集中しマウス操作がカ
ギ、患者の立場になって操
作性を確認することである。
画像ファイリングシステム
導入の目的は、①フィルムレ
ス、②インフォームドコン
セント、③地域連携である。
保存形式にはレントゲン
系のDICOMと、内視
鏡、エコー、心電図、眼底
などの非DICOM(JPEGな
ど)があるがやはり操作
性を重視する必要がある。
新規開業の約7割が電子カ
ルテを導入しており、診療所
のIT化は今後も普及してい
くと思われる。私たちにとつ
ても、患者さんにとつてもメ
リットのあるIT化をすすめ
ていきたい。

看護師の橋渡しをするコン
トロールタワーの役割を担
う。クラークは様々な役割を
担うことで、診療所全体の
流れを把握する広い視野が
得られるようになる。クラ
ーク運用で診療所が活性化す
る可能性があるということ。
予約受付システムは混雑
の山をなだらかにする。時間
予約と順番予約があるが最
近は混在することもあり、診
療スタイルに合わせた予約
方法の選定が必要である。

予約システムにもクラウ
ド型と院内サーバー型があ
る。操作性のポイントは、紙
ののポイント帳に似ている

減点事例や算定方法などご相談ください

納得のいかない減点事例や、レセプトの記載、算定方法など、
保険請求に関するご相談を受け付けています。困ったことがあれ
ば、悩まずすぐにご連絡を。



お問い合わせは、Tel 078-393-1803
兵庫県保険医協会まで

投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張な
ど、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流し
たいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。



【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠(くすのき)まで

講演記念総会
感想文

患者にも医療者にも メリットあるIT化を

洲本市 高田 裕



記念講演講師のメディプラザ大阪
マネージャー・石原正規氏

メディキャスト株式会社
メディプラザ大阪マネー
ジャーの石原正規氏に、「診
療所のIT化をどうするか」
をテーマに総会記念講演を

していただいた。

診療所を取り巻く環境の変
化では、インフォームドコン
セントの重要性、情報化イン
フラ整備、地域医療連携ネッ

トワークをキー・ワードに上
げ、今後は医療情報を外部に
置くクラウドサービスが増え
ていくとのこと。

末、診療サポート端末、検
査入力・指示確認端末の他、
往診端末などがあげられる。
これからの電子カルテに

特に、診療所にとって地
域医療ネットワークへの参
加は、①紹介患者の経過
がリアルタイムで理解でき
る、②高額医療機器の共同
利用で投資を抑えられる、
③地域連携に参加している
ことが患者満足につながる
る、などのメリットがある。
医療現場におけるPaaSな
どのモバイル端末の利用につ
いては、60歳代以上の医師
ではスマートフォンを上回っ
ており、操作性、軽量性、価
格などのメリットが影響して
いる。

は、クラウドサービスの活用
とモバイル端末の活用が欠か
せなくなる。電子カルテ選定
のポイントは、①操作性、②
機能、③サポート、④実績、
⑤価格である。
操作性では触ってみるこ
と。機能では使いやすいさ
や地域医療連携、モバイ
ル機能が大切。価格では
保守料(ランニングコス
ト)を考慮すること。電子
カルテ導入には最低3カ
月はおかると考えておく。
医療クラウド運用のすすめ
については、受付スタッフを
クラウドにまわすことができ
る。クラウドは受付、医師、

外来業務におけるモバイル
端末の活用として、問診端